

D&Iをより一層浸透させるための、
働くことを希望する人がその能力を最大限に発揮できる
職場づくり

○ オムロン太陽株式会社 江口 恵美

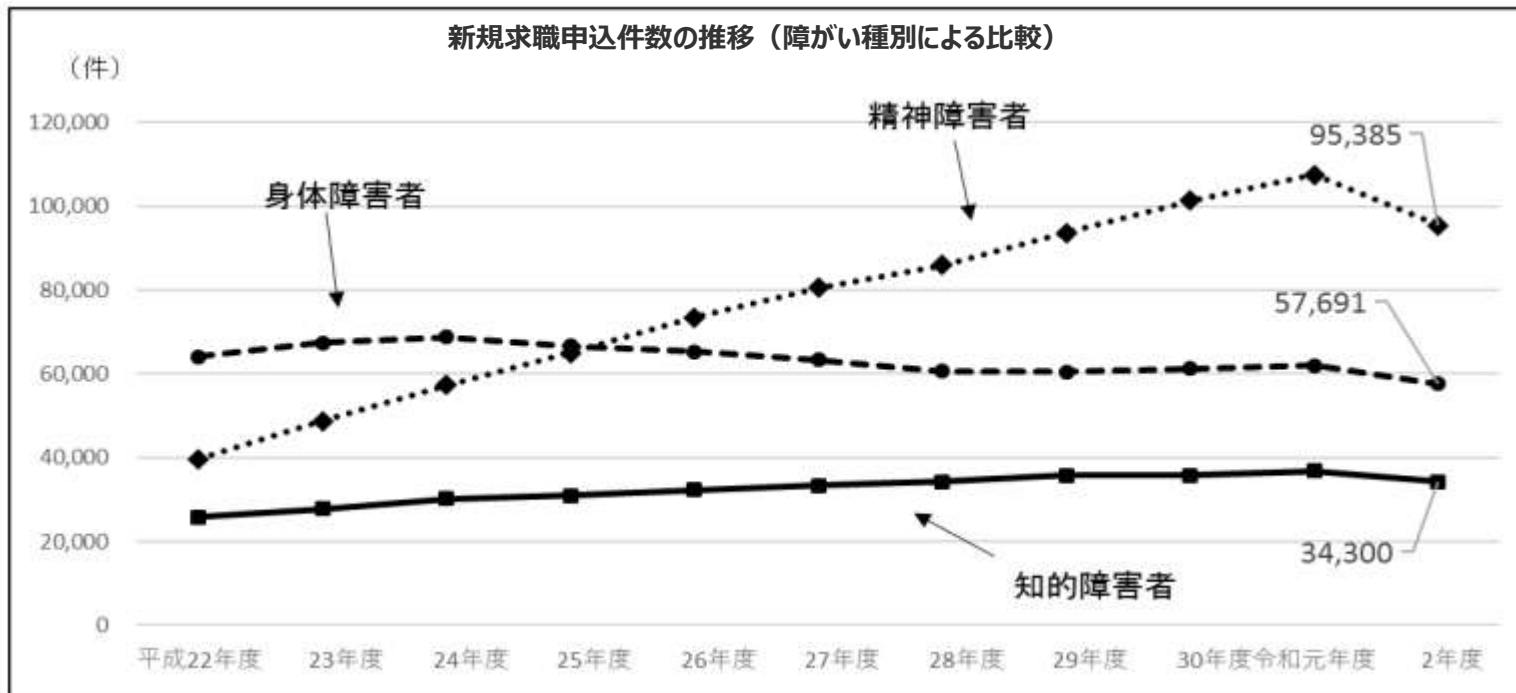
(D&I推進グループ グループ長 精神保健福祉士/産業カウンセラー)

オムロン太陽株式会社 会社概要

- ◆住所 大分県別府市大字内竈字中無田1393番地1
- ◆設立 1972年2月4日
- ◆創業 1972年4月8日
- ◆資本金 25,028,730円 (オムロン(株)87% 太陽の家13%)
- ◆売上高 14.9億円 (2020年度)
- ◆従業員数 70名 (男性53名：女性17名 2021年10月現在)
障がいのある者32名 障がいのない者38名



取組の背景と課題



令和3年厚生労働省 障がい者の職業紹介状況データより。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全体的に減少。

精神障がい/知的障がいのある人の求職件数の**増加傾向**

+

法定雇用率**上昇傾向**



働くことを希望する障がいのある人のニーズに応えること

事業主区分	法定雇用率	
	現行	令和3年3月1日以降
民間企業	2.2% ⇒	2.3%
国、地方公共団体等	2.5% ⇒	2.6%
都道府県等の教育委員会	2.4% ⇒	2.5%

企業理念の実践

Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

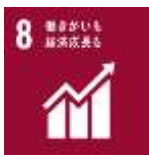
Our Values

私たちが大切にしている価値観

- ・ ソーシャルニーズの創造 潜在するニーズを感知することにより、暮らしを豊かにする、
また社会の課題を解決する商品・サービスを先駆けて提供し、社会に役立つこと
私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。
- ・ 絶えざるチャレンジ
私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。
- ・ 人間性の尊重 人の多様性、人格、個性の尊重はもとより、
人間らしい暮らしや仕事を追求するという私たちすべての活動の根底にある価値観
私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

オムロン企業理念

2015年5月改定



働くことを希望する障がいのある人のニーズに応えること

ユニバーサルデザインものづくり（ゆにもの）について

◆当社のユニバーサルデザインコンセプト

「働くことを希望する障がいのある人、ない人がその機能を最大限に発揮できる職場」であること

◆定義

対象業務について、**5つ以上**の機能別カテゴリにて就労することができる環境や体制であること

機能別カテゴリ											
脳機能の障がい				身体機能の障がい							
判断	計数	対人	読解	下肢	重度下肢	上肢	重度上肢	視覚	内部	視覚	重度視覚

◆ユニバーサルデザインものづくり

ダイバーシティ&インクルージョン、ユニバーサルデザインの状態であること

障がい区分の考え方を変える

Before 一般的な障がい名で分けていた

脳機能の障がい			身体機能の障がい					
知的障がい	精神障がい	発達障がい	下肢機能障がい	上肢機能障がい	聴覚障がい	内部障がい	視覚障がい	高齢者

知的障がい、精神障がい、発達障がいは、重複していることもある。同じ組み合わせでも、特性は多種多様。



After ハンデとなる動作/機能で分ける

脳機能の障がい				身体機能の障がい							
判断	計数	対人	読解	下肢	重度下肢	上肢	重度上肢	視覚	内部	視覚	重度視覚

機能カテゴリ：脳機能（知的・精神・発達・アスペルガ/自閉症）	
カテゴリ	④ 読解
カテゴリの特性	手順書を読んでも文章の理解が困難
ユニバーサル対応ラインの基準	文字を読まなくても理解できる手順書がある
ユニバーサルデザイン対策・改善	画像、図化、イラスト活用、手順書の動画化

機能別分析表の作成

ゆにもの：対象業務について、5つ以上の機能別カテゴリにて就労することができる環境や体制であること

機能区分 カテゴリ	脳機能の障がい			
	判断	計数	対人	読解
特性 特性1)～3)までのいずれかを満たせば ハンデ区分の該当とする ※は必ずしも当てはまるとは限らないので 判断基準の対象外	1) 0/1でしか判断できない	1) 2桁以上の数を数えることができない 2) 計算ができない 3) どこまで数えたか忘れる	1) 周りに人がいると作業に集中できない 2) 自分の状態を伝えるのが難しい	1) 手順書を読んでも文章が理解できない
対応ラインの基準	1) 0/1以外の判断が不要	1) 2) 3) 計数・計算が不要	1) 1人作業ができる環境がある 2) 言葉に出さなくても状態が他人に伝わる	1) 文字を読まなくても理解できる手順書がある
対策イメージ	1) 0/1以外の判断の削除・補完	1) 2) 3) 計数・計算の削除・補完	1) パーソナルエリア 2) 状態表示マーク	1) 画像、イラストの活用や、手順書の動画化
作業工程				
ケースアッシー組立	-	×	×	×
プレートバッキン	-	×	×	×
シュードウシカシメ	-	×	×	×
除塵とローター挿入	○	-	×	×

- ・各カテゴリの特性により、対応するラインの基準と対策イメージを決定。
- ・各作業工程が各カテゴリに対応しているかを○×で評価。
- ・×については対策を実施、ゆにもの化を図る。

手順書の動画化 「読解の工夫」



- ・「文章の理解が難しい」特性をカバーするために、手順書を**動画化/音声化**。
- ・文字と音声の有無が選択可能、**障がいの有無に関わらず**誰にでもわかりやすい。

心身状態の見える化 「対人」の改善

今日の気持ち

76~100%



好調

50~75%



普通

0~49%

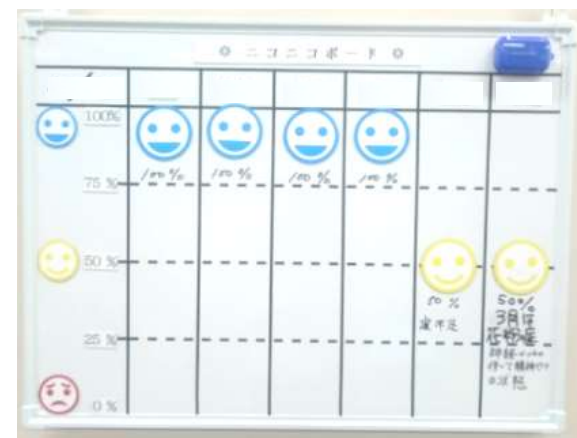


不調

障がいの有無に関わらず、メンバー全員の気持ち（心身状態）が見える化されて、お互いに理解/共有ができ、コミュニケーションの強化ができた。

心身状態の見える化のデータベース化

10月	A	B	C
10/1(月)	95 肩の違和感	80 DVD3時まで見て眠れない	90 PCで夜更かしした
10/2(火)	85 早く寝過ぎて朝早く起きた	100 特に問題なし	85 早く寝過ぎて朝早く起きた
10/3(水)	90 寝付けなかった	100 特に問題なし	70 咳で起きて寝れなかった
10/4(木)	70 眼鏡を忘れて気分が悪い	100 特に問題なし	85 早く寝過ぎて朝早く起きた
10/5(金)	95 肩の違和感	100 特に問題なし	70 PCで夜更かしした
10/9(火)	95 肩の違和感	100 特に問題なし	60 お腹の調子が悪い
10/10(水)	95 肩の違和感 寝不足夜中に目が覚めた	0 めまい 欠勤	85 お腹の調子が悪い
10/11(木)	90 肩の違和感	0 倦怠感 欠勤	85 お腹の調子が悪い
10/12(金)	95 肩の違和感	0 倦怠感 欠勤	75 早く寝過ぎて朝早く起きた
10/15(月)	95 肩の違和感	80 病気明け	75 目が覚めた TVの音量がうるさかった
10/16(火)	80 2時までねむれなかった	90 病気明け	75 5:00に起きた 6hしか眠れなかった
10/17(水)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	75 遅くまでTVをみて寝不足
10/18(木)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	100 絶好調
10/19(金)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	85 早く起きた5:16
10/22(月)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	90 早く起きた5:30
10/23(火)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	75 打撲した
10/24(水)	95 肩の違和感	100 体調が悪い	75 早く起きた5:30
10/25(木)	0 屋から お腹の調子が悪い	100 体調が悪い	90 眠い 10:00前に寝て5:30に起きた
10/26(金)	95 肩の違和感	0 休み 胃腸炎	80 眠い 10:00前に寝て5:30に起きた
10/29(月)	95 肩の違和感	100 特に問題なし	80 眠い 10:00前に寝て5:30に起きた
10/30(火)	95 肩の違和感	100 特に問題なし	100 特に問題なし
10/31(水)	95 肩の違和感	100 特に問題なし	75 早く起きた5:30
ニコ率	22	79.5	80.9
良好	20	17	12
普通	1	0	10
不良	1	4	0
その他	0	0	0



日々のデータを残すことで**個人毎の傾向が把握しやすくなり**、体調が悪くなる前に声掛けできることも増え、**突発休みが減少**。

取り組みの結果

今まで : 身体障がいのある人が働きやすい環境づくり

設備

治工具

+

今から : 脳機能に障がいがある人も働きやすい環境づくり

設備

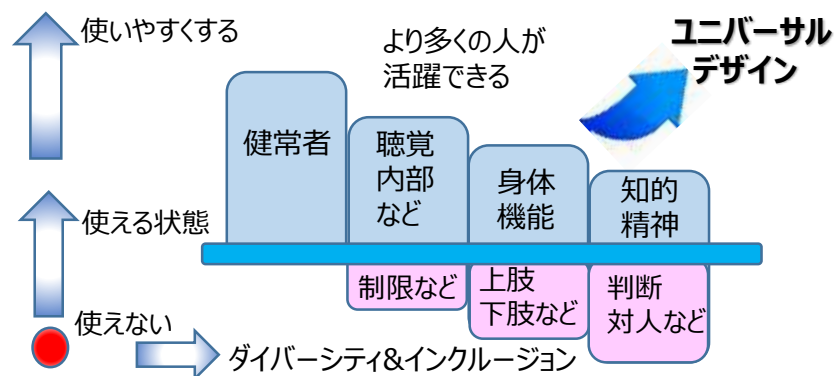
治工具

仕組み

精神面

判断

多様性





障がいの有無に関わらず働きやすい

今後について

製造部門→間接部門に「ゆにもの」を展開

⇒ 働くことを希望する人がその能力を最大限に発揮できる職場づくりを続けていく

(精神/知的障がいのある人のニーズ)

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度～
製造部門			製造部門+間接部門 (事務系)
モデル製品ライン構築	SWラインへの展開	製造受託製品ライン	
<p>【 Seed -浸透- 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 基盤構築モデルライン 1SWライン ◆ 定義の策定 カテゴリ: 9 ⇒ 12 	<p>【 Sprout -芽が出る- 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定義を全社展開 機能別分析表ブラッシュアップ ◆ 社内改善活動で取り組み ◆ 全SWラインへ展開 (5ライン) 	<p>【 Grow up -成長する- 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 機能別分析表ブラッシュアップ ◆ 製造受託製品ラインへ展開 ◆ 展開の加速・・・間接部門へ 	<p>【Standard -標準- 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 改善のブラッシュアップ ◆ 標準化 ◆ 間接部門への展開 

★オンラインでのご説明や工場見学できます★
ご遠慮なくお問い合わせください。